

とやま

県広報とやま

2004

10月号

No.408

富山県

特集₁ 県民が主役の県づくり

特集₂ 新しい市が誕生します

クローズアップ あなたの「心」、元気ですか？

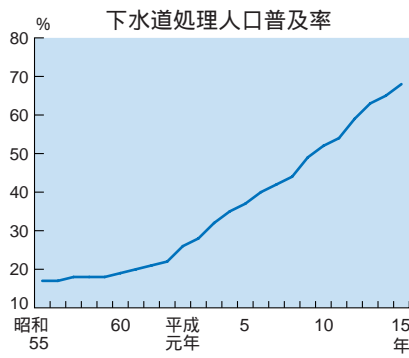
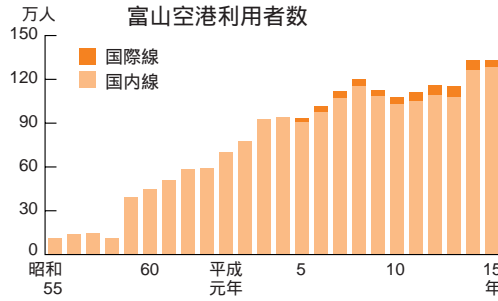


自然博物館「ねいの里」で自然観察や自然保護活動に取り組むジュニアナチュラルリストと養成講座受講生の皆さん。

富山～東京間の所要時間

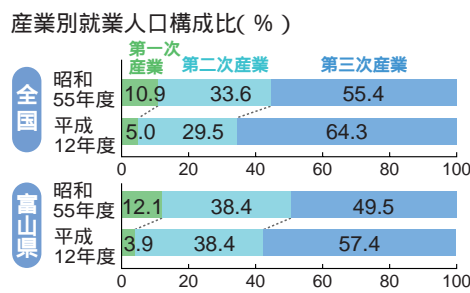
	昭和55年	現在
列車	5時間55分	3時間10分
飛行機	1時間50分	1時間

北陸新幹線が開通すれば2時間7分



下水道処理人口普及率(%) = 国土交通省が所管する下水道処理区域内の人口 / 住民基本台帳人口 × 100

- ・「日本一の花と緑の県づくり」を目指しました。
- ・花総合センターや中央植物園の整備
- ・学校や公園、道路等の緑化
- ・全国育樹祭や全国都市緑化とやまフェアの開催
- ・地域緑化を指導する「グリーンキーパー」の増加
- ・自治会や婦人会、ボランティア



	昭和55年度	平成13年度または14年度
県内総生産 (百万円)	2,373,966	4,501,481(H13)
一人当たり県民所得 (千円)	1,771	2,916(H13)
製造品出荷額等 (百万円)	2,597,788	3,225,710(H14)

昭和55年度と平成13年度では推計方法が一部異なる

- ・高速交通体系の整備を進め、大都圏への所要時間を短縮しました。
- ・富山空港のジェット化
- ・北陸自動車道の全線開通
- ・北陸新幹線や東海北陸自動車道等の整備促進

交通施設の整備

生活立県

- ・すべての人が文化に親しむ環境づくりに努めてきました。
- ・県民文化条例の制定
- ・立山博物館や水墨美術館、新川文化ホールなどの開館
- ・国民文化祭やこれを継承した県民文化祭の開催

香り高い芸術文化

快適な生活

- ・本県は、持ち家率や住環境などの面から、「住み良さ日本一」と言われています。
- ・人にやさしい住宅の増加
- ・都市のユニバーサルデザイン化
- ・快適な公共トイレの整備
- ・全県域下水道化構想の実現

高齢者福祉の充実

- ・高齢者の介護を家族だけでなく社会全体で支えるニーズに対応して、高齢者福祉を進めました。
- ・老人福祉施設の整備促進
- ・富山型デイサービスへの支援
- ・地域総合福祉の推進

高齢者福祉の変化

	昭和55年度	平成15年度
特別養護老人ホームの数	6施設415床	59施設4,437床
ホームヘルパーの養成数	179人	14,804人

環境立県

循環型社会の形成

- ・ライフスタイルを見直し、環境への負荷の少ない循環型社会を構築しようという意識が高まってきました。
- ・とやま廃棄物プランの策定
- ・ごみの分別リサイクルの推進

雪との共生

- ・56豪雪は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。
- ・総合雪対策条例の制定
- ・消雪雪施設や除排雪機械の整備
- ・冬のイベントの開催
- ・地域ぐるみの除排雪

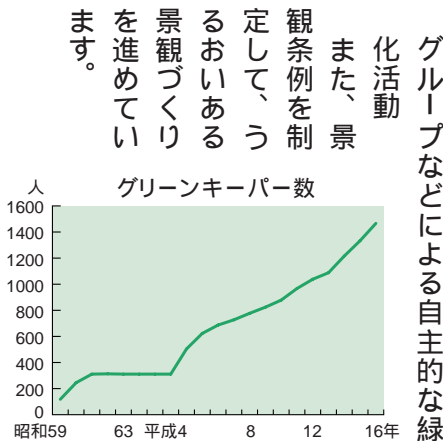
消雪雪施設延長 (単位:km)



産業立県

【産業構造の変化】

- ・本県の産業別就業人口の構成比は、第一次産業が減少して第三次産業が増加しました。全国と比べると従来から第二次産業に従事する人が多く、モノづくり県の傾向が強いといえます。



県民が主役の県づくり

昭和55年 (1980年)

平成16年 (2004年)

中沖知事は、今年11月8日で退任することになりました。昭和55年11月からの24年間、県民を主役として、世界の動きの中で未来を展望し、これまでの成果と新しい知恵を活かした計画県政を進めてきました。これまでの動きを、県民新世紀計画の政策の柱である5つの立県構想ごとにまとめてみました。

人材立県

- ・「ふるさとへの誇りと自信」モノの豊かさから心の豊かさへと県民のニーズが変化し、魅力ある地域づくりが課題となりました。富山の魅力や活力の再発見が進み、今では、富山県民であることに誇りと自信をもって富山県に暮らす人が増えました。

【人口構造の変化】

- ・少子・高齢化が進み、人口構造が大きく変化しました。

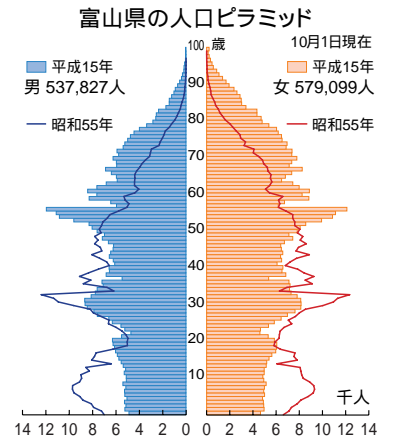
人口構造の変化

	昭和55年	平成15年
人口(人)	1,103,459	1,116,926
年少人口(%) ¹	22.6	13.7
老年人口(%) ²	11.2	22.4
合計特殊出生率(人)	1.77	1.35
平均寿命(年)		
男性	73.37	78.81 ³
女性	79.07	86.99 ³

¹ 15歳未満 ² 65歳以上 ³ 平成12年の値

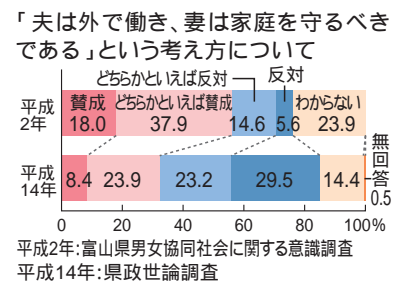
学校教育の充実

- ・小・中学校
- ・習熟度別指導など少人数授業の活用
- ・小学校低学年における三十五人学級の導入
- ・高等学校
- ・昭和六十年前後の学校新設
- ・定時制・単位制高等学校や総合学科の設置など教育の多様化
- ・高等教育
- ・国立高岡短期大学や県立大学など新大学の開学
- ・社会人教育や共同研究など地域との連携
- ・生涯学習県とやま
- ・全国に先駆けて生涯学習に取り組んできました。
- ・県民生涯学習カレッジの開学
- ・県民自らが教授になって企画・運営する「自遊塾」の発足



男女共同参画社会の推進

- ・男女が共に社会で活躍できる基盤整備を進めました。
- ・審議会等の女性委員割合の増加
- ・男女共同参画推進条例の制定
- ・県民共生センターの開館
- ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



日本一の健康スポーツ県

- ・健康
- ・がん検診受診率の向上
- ・高志リハビリテーション病院の開院や中央病院の改築
- ・国際健康プラザの開館
- ・スポーツ
- ・生涯スポーツの普及
- ・2000年とやま国体の総合優勝



2000年とやま国体

今、時代は「激変と混乱の大転換期」にあります。このような時こそ、明確なビジョンをもち、これを着実に実行していかねばなりません。

このため、富山県では、県民の英知を結集した「富山県民新世紀計画」のもと、「水と緑」とのちが輝く「元気とやま」を基本目標



富山県知事 中 沖 豊

すばらしい「県民の力」

「高速交通体系の整備」「環日本海交流の拠点づくり」は、県民の皆さんと一緒に進められたのではないかと思います。

おかげをもちまして、富山県は大きく発展し、県民生活の面でも全国トップクラスの豊かで住みよい県として高い評価を受けるようになりました。これは、まさに「県民の力」の結集の成果であると思います。

県民の皆さんが総力を結集して、富山県がさらに大きく飛躍発展することを願っております。

- 新時代の行政運営**
- 行政改革
 - 県民サービスの向上
 - 行政の簡素・効率化の推進
 - 財政改革
 - 財政規模は二十四年間で約一・九倍になりました。
 - 十六年度末の県債残高 1 九千六百九十億円程度
 - 十六年度末の通常の県債 2
 - 本部事務局の誘致
 - 多数の県内企業の海外進出

- 八千四百四十億円程度
 - 平成十三年度をピークに年々減少
 - 十六年度末の実質的な県債残高 3 三千九百億円程度
 - 十五年度末の起債制限比率 4 十二・六%
 - 平成十一年度をピークに改善 (全国平均並み)
 - 1 県の借入金 2 建設事業に充当
 - 3 県独自の財源で元利償還
 - 4 財政の健全度を測る数値
- 特集1についての問合せ:ご意見は県庁広報課 ☎076(444)3134 本文中の傍線は用語解説があります <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

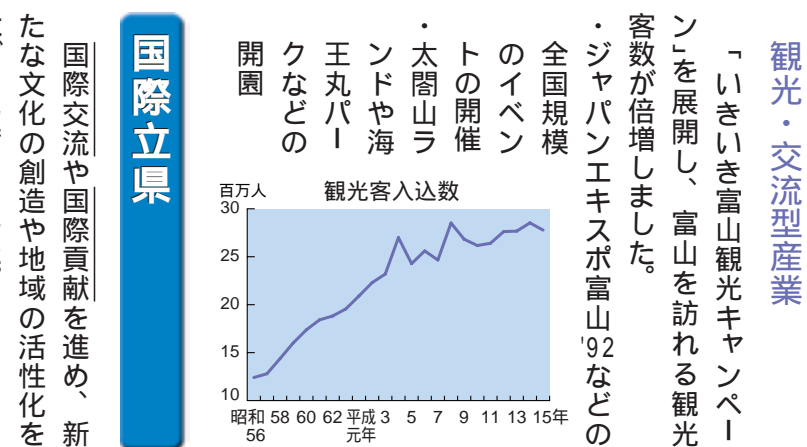
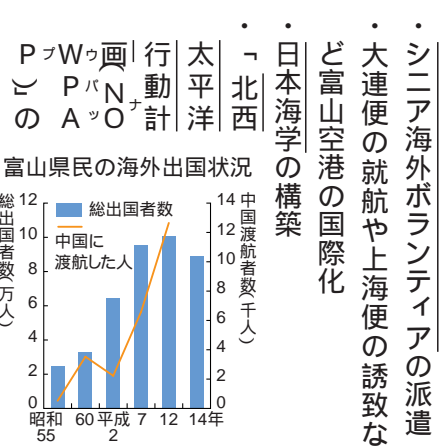
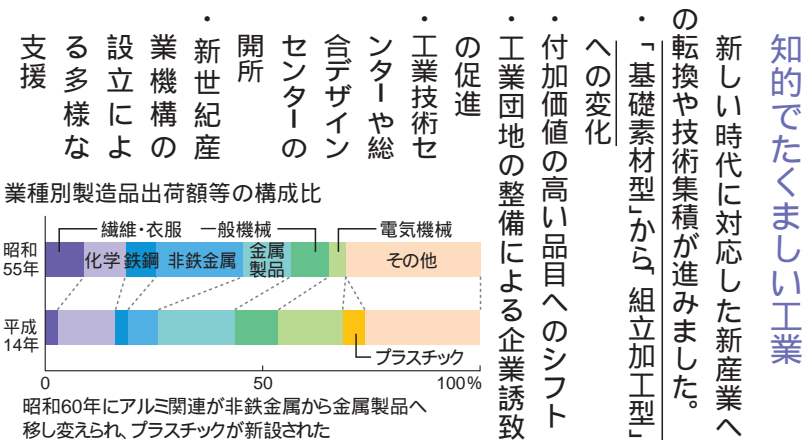
高度化する農業経営

日本有数の米どころである本県ですが、農家数や耕地面積は減少しました。一方で、経営の合理化や大規模化が進んでいます。

農業経営関連指標

	昭和55年	平成14年
農家数(戸)	71,341	44,680
耕地面積(ha)	73,300	60,700
3ha以上の農家(戸)	686	1,960
10aあたりの農業労働時間(時)	105	54
10aあたりの水稲収量(kg)	448	543

平成15年の値



富山県の二十四年間

16年 15年 14年 13年 12年 11年 10年 9年 8年 7年 6年 5年 4年 3年 2年 元年 平成 63年 62年 61年 60年 59年 58年 56昭和

富山県民新世紀計画

- イラク戦争
- ノーベル化学賞受賞の田中耕一さんへの名誉県民贈呈式
- とやま廃棄物プラン策定
- 県大連事務所開所
- 能越自動車道(高岡〜高岡北間)開通
- 富山県民新世紀計画
- 日韓共催サッカーW杯
- 富山県景観条例制定
- 東海北陸自動車道(五箇山〜白川郷間)開通
- 日本海学推進機構設置
- アメリカで同時多発テロ
- 欧州単一通貨ユーロの流通開始
- 神通川左岸流域下水道流域全市町村供用開始
- 2000年とやま国体・きらりんびっく富山開催
- NOWPAPの本部事務局設置決定
- 男女共同参画推進条例制定
- 北陸新幹線の上越・富山間着工
- 国際健康センター(現県民共生センター)開所
- 女性総合センター(現県民共生センター)開所
- 長野冬季五輪
- 大連便就航
- 水墨美術館開館
- 国際健康プラザ開館
- 県総合福祉会館開館
- 介護保険制度導入
- 地方分権一括法施行

新富山県民総合計画

- 富山県高齢者保健福祉計画策定
- ウラジオストク便就航
- 全国生涯学習フェスティバル開催
- 新川文化ホール開館
- 阪神・淡路大震災
- 小矢部川流域下水道流域全市町村供用開始
- 県立中央病院新診療棟完成
- 五箇山合掌造り集落が世界遺産登録
- 全国都市緑化とやまフェア開催
- 富山県民文化条例制定
- 富山県民福祉条例制定
- 国民文化祭とやま'96開催

富山県民総合計画

- 56豪雪
- 近代美術館開館
- いきいき富山観光キャンペーンスタート
- 太閤山ランド開館
- 国立高岡短期大学開学
- 全国育樹祭開催
- 富山八尾中核工業団地の分譲開始
- 富山空港にジェット機就航
- 中国遼寧省と友好提携
- 高志リハビリテーション病院開院
- 総合雪対策条例制定
- ブラジルサンパウロ州と友好提携
- ブラザ合意
- 工業技術センター開所
- 高岡文化ホール開館
- 県民ヘルスプラン策定
- ブラックマンデー
- 北陸自動車道全線開通
- 県民生涯学習カレッジ開学
- 頭脳立地計画の承認
- 消費税実施
- 天安門事件
- ベルリンの壁崩壊
- 県立大学開学
- 湾岸戦争
- アメリカ・オレゴン州と友好提携
- 立山博物館開館
- ソビエト連邦消滅
- 海王丸パーク開園
- こどもみらい館開館
- ジャパンエキスポ富山'92開催
- ロシア・沿海地方と友好提携
- ソウル便就航
- 中央植物園開園

田中耕一さんに名誉県民贈呈

国際健康プラザ

五箇山合掌造り集落

県立中央病院

富山県立大学

ジャパンエキスポ富山'92

中国遼寧省と友好提携

富山空港ジェット機就航

いきいき富山観光キャンペーン

合併によって町村長、助役、収入役、議会議員、一般職員等を削減することができ、人件費が大幅に減ることになります。砺波市は、平成十七年度から十年間で約一割(九億六千万円)削減できる見込みです。

また、公共的施設の統合整備を検討しており、建設事業費も削減できます。南砺市では平成十七年度から十年間で約一割(九億六千万円)削減できる見込みです。

行財政の効率化

道路や公共施設の整備、環境問題への対応や観光振興などは、これまでの市町村域を越えて広域的な対応が可能になります。例えば、南砺市の建設計画によれば、土地利用構想で四つのゾーンを設け、これまでの町村が持つ個性や文化を守り活かしながら、広域的なまちづくりを進めることとしています。

広域的なまちづくり

民は市内いずれの窓口も利用できることから、利便性も向上します。

市長と議員について

市長

公職選挙法の規定により、新市設置の日から50日以内に選挙が行われます。(新市長が選出されるまで、市長の職務は職務執行者を定めて行われます。)

合併関係市町村の長であった者の中から定められます

議員

平成17年4月30日までは在任特例を適用して現行の砺波市・庄川町の議員が新市の議員になります。

砺波市	現行定数	30人
	平成17年5月以降	22人

公職選挙法の規定により、新市設置の日から50日以内に選挙が行われます。

南砺市	現行定数	91人
	新市設立後初回の選挙	34人
	平成20年以降	30人

住所の表示はようになるの？

- 砺波市
- 庄川町は「砺波市庄川町」



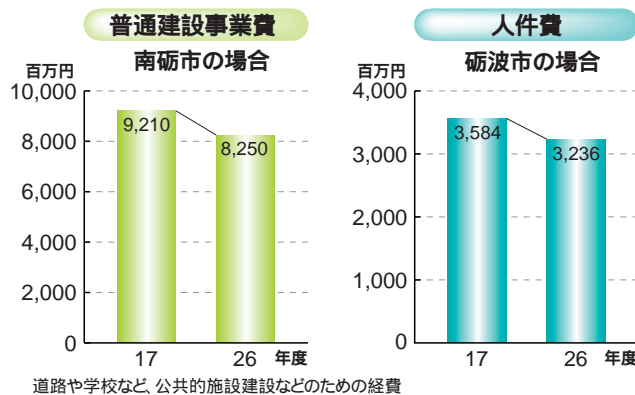
【原則】

- 南砺市
福野町苗島 ▶ 南砺市苗島
- 利賀村は「南砺市利賀村」

【例外】

- 8町村内に同じ字名がある地域は大字の名称が変更
城端町 立野原 ▶ 南砺市立野原東
福光町 立野原 ▶ 南砺市立野原西
- 大字のない区域には新たに大字が付される
福野町 番地 ▶ 南砺市 福野 番地

財政計画で見る経費削減



「市」になることで始まる新たな事務

町村のときには県が扱っていた事務の一部が、市で取り扱われるようになります。十一月一日から次の手続きについては市役所の窓口で申請してください。

- ・生活保護等の事務
- ・障害児福祉手当・特別障害者手当の支給

県では「富山県市町村合併支援方針」を策定し、合併協議会への県費など、県も応援します。

特集2についての問合せ・ご意見は
県庁市町村課
076(444)4578

合併関係市町村数に一億円を乗じた額を合併市町村に交付するもの

今後の、新市への県職員派遣や新市からの研修生受け入れなどの人事交流を行ったり、市町村合併特例交付金として砺波市に二億円、南砺市に八億円を交付したりするなど、二市のまちづくりを積極的に応援していきます。

新しい市が誕生します

平成16年11月1日に県内の市町村が合併して、2つの新しい市「砺波市」と「南砺市」が誕生します。新市ができるのは、昭和37年に小矢部市ができて以来、42年ぶりのことです。この2つの新しい市が今後どのようなまちづくりをしていくのかを紹介します。

庄川と散居に広がる健康フラワー都市

砺波市

市章



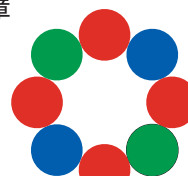
人口 49,064人 (県内5番目)
面積 126.96km² (県内13番目)

新市の事務所は現在の砺波市役所となります。庄川町役場は「庄川支所」として各種申請等の窓口業務を行います。

自然、文化、交流が織りなす創造とやすらぎの南砺市

南砺市

市章



人口 58,771人 (県内3番目)
面積 668.86km² (県内最大)

新市の事務所所在地は、現在の福野町役場となります。なお、現在の各町村役場は、次のような形で業務を分担します。

- 分庁舎 各部署など行政機構を分担
城端、井波、福野、福光
- 行政センター 各種申請等の窓口業務を実施
8町村役場全てに設置

富山県人口移動調査より(平成16年8月1日現在)

住民サービスの向上

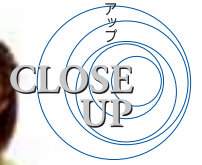
各地域の良さを活かしてパワーアップしたまちへ

「砺波市」は現在の砺波市と庄川町の合併により、「南砺市」は現在の城端町、平村、上平村、利賀村、井波町、井口村、福野町、福光町の八町村の合併により誕生します。いずれの市も、平成十四年十二月の任意合併協議会の設置から協議を重ね、今年四月の合併協定調印、六月の県議会での廃置分合議決などを経て十一月の新市誕生に至りました。

新しい市になることで、行政運営は次のように変わります。

小規模な町村では職員が一人でも役もこなすことが多く、専任の職員を十分確保することは困難でした。合併によって現在の市町村の事務事業が一元化されれば、職員の仕事が専門化するほか、新たに専任組織や職員を置くこともできるようになり、高度な行政サービスを効率的に提供できるようになります。

なお、砺波市、南砺市ともに、現在の全市町村の庁舎で各種申請等の窓口業務を行なうこととしており、住



あなたの「心」、元気ですか？



ストレス社会といわれる現代、私たちは日々不安や緊張、失敗や挫折などさまざまなストレスにさらされています。このような中で心の健康を損なう人が年々増えており、中でも「うつ病」は15人に1人が生涯に一度は経験するといわれています。

図 うつ病の代表的な症状、サイン

自覚症状

悲しく憂うつ
疲れやすくいつもだるい
やる気や集中力が低下
眠れない
食欲不振
頭痛



周りが気付く変化

表情が暗く元気がない
仕事のミスが増える
飲酒量が増える

心の病気に関する相談は

■ 富山県心の健康センター

心の健康センターでは、心の悩みの相談や治療のほか、ボディソニックなどによるリラックス体験やストレスの状態をチェックするストレスドックなど、心の健康づくりに関するさまざまな業務を行っています。



こころの電話相談 ☎076(428)0606

富山市蜷川459-1 ☎076(428)1511

■ 県厚生センター 他

新川、中部、高岡、砺波の各厚生センター及び支所、富山市保健所でも相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

現代人をむしばむストレス

「ストレス」とはもともと歪みという意味で、外から圧力が加わった状態のことを言います。適度のストレスは生活にメリハリをもたらすものですが、ストレスがあまりに強かったり蓄積したりすると、心身症やうつ病の原因となります。

警察庁が発表した自殺者数は、平成十五年には約三万五千人となり、統計を始めてから最悪の人数となっています。交通事故での死亡者の四倍を超えています。その背景には経済問題や健康問題など、ストレス環境が過去にないほど厳しい状況にあることが指摘されています。

うつ病を正しく知る

「うつ病」とは、気分がひどく落ち込んだり何事にも興味を持てなくなったりして、体調にも異常をきたしてしまふ病気です。人間関係の悩みや肉親との離別といった強いストレスなどのほか、転居や昇進なども原因になるとされています。症状の出方には個人差がありますが、図のような症状が二週間以上も続く場合はうつ病の可能性があります。

うつ病と正しく向き合う

うつ病には、早期発見と根気強い治療が重要です。うつ病は、本人が気付かなかつたり、気付いていて

も専門医にかかっているにもかかわらず症状が悪化する傾向があります。誰でもかかる病気ということを正しく知り、早めに専門医に相談しましょう。

また、症状から「怠けている」「根性がない」と見られることも多くあります。うつ病の人に「がんばれ」などと励ましたり叱ったりするのは、ますます本人を追いつめるため禁物です。周囲の人が病気の症状や本人のつらい気持ちをよく理解し、あたたかく支えることが大切です。

問合せ 県庁健康課
☎076(444)3223

とやまの

やる気・元気

自然や生き物が大好き。ずっと守っていききたい。

富山県ジュニアアナチュラリストの皆さん

アナチュラリストとは、自然への理解を深めるため活動する自然解説員のこと。ジュニアアナチュラリストは、自然保護に関心のある未成年者を対象に認定している。養成講座の受講が必要で、現在認定者は百十三名。



前列右より
 あおき しゅんいち 青木 隼一さん(高校1年生)
 しんしょう こうへい 新庄 康平さん(高校1年生)
 なかだ たつや 中田 達哉さん(高校1年生)

後列右より
 にしお あずさ 西尾 梓さん(中学1年生)
 なかもと まりこ 中本 真梨子さん(中学1年生)
 かきち けんた 垣地 健太さん(中学3年生)

ジュニアアナチュラリストたちは、自然博物館「ねいの里」などで、自然観察や環境保全活動を行っている。

「水生庭苑に外来種のキシノウブなどが生えて、どれだけ取ってもどんどん増えていくんです」と中田さん。それでも、在来種を守るために根気よく取り除いている。

ねいの里はかつて里山として利用されていたが、長く手入れされていなくなった。彼らは間伐なども手伝っている。「木が繁りすぎると低い草木が育たない。間伐して光を入れると植物が育つて、チョウの幼虫などが葉を食べる。生き物も増えるんです」と青木さん。

高校生のメンバーは、昨年ロシアで行われた渡り鳥に関する共同調査にも

参加した。鳥を捕まえて種類や性別、体重などをチェックして放す。渡りに使う脂肪の量などを調べるためだ。

鳥に興味がなかった青木さんは、「はまってしまいました笑」と言う。今も鳥の勉強を頑張っていて、将来は自然に関する仕事がしたいと語る。

他のメンバーも、将来は自然保護に携わりたいと言う。「今も絶滅しそうな生き物があります。それを防ぐには環境保全からだと思つ」と新庄さん。

学校と活動を両立させながら、家でも勉強しているというメンバーたち。「自然や生き物が好きだから」「富山の自然を守りたいから」。その純粹な気持ちを守りながら、一步一步成長を続けている。

8月

1日 アジア太平洋子ども演劇祭(～6日)



アジア・太平洋地域の子ども劇団が富山に集まり、国際色あふれる舞台公演が行われた。

2日 利賀サマー・アーツ・プログラム2004(～21日)

3日 臨時県議会

5日 主要地方道富山魚津線開通式
深層水フォーラム in とやま

9日 北陸新幹線第2黒部トンネル貫通式

14日 BeSeTo演劇祭 利賀(～23日)

19日 子どもとやま県議会

25日 富山県・遼寧省友好県省締結20周年記念式典



交流を通じ、日中両国の永遠の友好と平和に貢献することを改めて誓い合った。

9月

7日 NEAR2004・中国(～8日)



工作・産業機械部品などを取り扱う中国企業90社と県内企業との商談会が行われた。

10日 9月定例県議会(～27日)

23日 県民芸術文化祭2004オープニングフェスティバル

10月

今後の予定

23日 食祭とやま2004in砺波(～24日)

ごみゼロ推進県民大会・ごみゼロ推進北越地区大会・とやま環境フェア2004(～24日)

24日 高山本線全線開通70周年記念シンポジウム

11月

12日 景観づくりフォーラム2004

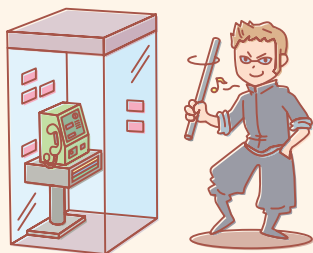
20日 日本海学シンポジウム

Q

最近、カメラ付き携帯電話での盗撮や
電話ボックスのピンクピラなど、目に
余る行為が目立つように思います。
何とかならないのでしょうか。

A

県では、私達の生活に迷惑や不安を与
えるような暴力的な行為を「公衆に著しく
迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に
関する条例（いわゆる『迷惑防止条例』）」で規制してき
ました。しかし、社会環境の変化に伴って、新たな形態
の迷惑行為等が現れたことから、条例を一部改正し、
必要な規制の追加と罰
則を強化しました。本
年9月1日から施行して
おり、ご指摘のような
迷惑行為についても規
制しています。



迷惑防止条例で規制する主な迷惑行為

卑わいな 行為	痴漢行為、のぞき見や盗撮行為、卑わいな言動 など、男女を問わず、人に著しいしゅう恥心や 不安を覚えさせる行為。
ピンクピラ等 の配布行為	性的好奇心をそそるような、いわゆるピンクピラ を配布したり貼りつけたりする行為。
粗暴行為	大勢でうるついたりたむろしたりして、いいが かりをつけるなど、人に不安を覚えさせるような言動。 刃物、鉄棒など凶器になるようなものを、人に 不安を覚えさせるような方法で携帯する行為。 祭礼等の雑踏における混乱を誘発したり、助長 したりする行為。 水上におけるモーターボート等による危険行為。
押売行為	戸々を訪れ又は街頭において行う暴力的な押売 行為。

この他にも、「ダフヤ行為」や「不当な客引き行為」などがあります。

問合せ 県警生活安全企画課 ☎ 076(441)2211

Q

息子に富山県の県章の由来について聞かれ
ました。詳しく教えてください。

A

富山県の県章は、富山県のシンボルでもあ
る立山を図案化し、その中央にとやまの
「と」の字を配置したもので、大空に向って
躍進する富山県を表現しています。
昭和33年の富山国体の開催を迎えるにあたって、全国
から図案を募集し制定されました。
その後、昭和63年に一部修正されて現在の県章となり、

あわせて県のイメージカラーが指定されました。この
「ビビット・グリーン」は、富山県の豊かな自然と未来
への躍動感をアピールするとともに、花と緑の彩りある
県づくりをめざす色です。

この県章と「富山県」の文字を組みあわせたロゴタイプ
は、県が発行、管理する冊
子やポスター、標識等に使
われています。



問合せ 県庁広報課 ☎ 076(444)3134

これからも
いろいろな声
をお寄せください。

はがき

〒930-8501 (住所記入不要)
「県民のひろば」係

県民相談電話・
FAX・Eメール

TEL.076(431)3131
FAX.076(444)3300
E-mail.koho@pref.toyama.lg.jp

県政クイズ

今年11月1日に誕生する新しい市は、
砺波市と
「市」です。
(を埋めてください。)

ヒント：5ページをご覧ください。

応募方法

はがきに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感
想を記載し、〒930-8501(住所記入不要)富山県庁広報課「県
広報とやま10月号クイズ係」まで。

締切 / 10月13日(水) 必着)

正解者の中から20名の方に、「とやまの野生動
植物」をプレゼントします。

(富山県刊行物センター(県会館1階 ☎ 076(432)3111)にて販売中)

(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせて
いただきます。なお発送予定日は10月15日です。)



全国で紹介された 富山県

郷土の良さを再発見していただくため、全国で紹介された富山の話題を紹介します。このほかにも県庁広報課のホームページでお知らせしています。

赤ちゃんにやさしい県立中央病院

県立中央病院が、国連児童基金(ユニセフ)や世界保健機関(WHO)が選ぶ「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されたことを紹介。この認定は、出産直後から母子同室にすることなど、母乳育児に積極的に取り組む医療機関が対象となっている。



「日本経済新聞」8月8日

田中耕一さんのエピソードを展示

県教育記念館に、富山県出身のノーベル化学賞受賞者、田中耕一さんのエピソードなどを展示する「ノーベル賞紹介コーナー」が設置されたことを紹介。子どもの理科離れに歯止めをかけようと、県ひとつづくり財団が設置したもので、東北大学の卒業論文なども展示されている。



「日本経済新聞」7月17日

3000メートル峰入りに期待

劔岳(標高2998メートル)の初測量から間もなく100年となるのを記念し、国土地理院北陸地方測量部が厳密な測量を行うことを紹介。1907年の初測量では、標石を山頂に運び上げられず、周辺の山の三角点を基準に測量した。今回の測量で地元では「大台」への期待が高まっているという。



「東京新聞」8月8日

「日本経済新聞」8月8日

今後の予定



特集ドラマ「絶壁～山岳警備隊、疾走る～」

NHK総合、NHKデジタル総合 10月2日(土)午後7:30～8:44(県内のみ)
NHK BS ハイビジョン 11月6日(土)午後7:30～8:44
立山連峰を舞台に、苦悩を抱えながら救助へと向かう県警山岳警備隊員の人間ドラマを描きます。

富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

とやまの情報 お伝えします!

【10月の県政番組・お知らせ】

こんにちは富山県です | 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00～11:30

3日 こころの健康を考えよう
10日 きときとの魚をお届けします
17日 とやまの食が満載～食祭とやま2004 in 砺波～
24日 あなたも発明にチャレンジ
31日 とやまの港

きときと キッズ!
フォーカス・イン | 富山テレビ
毎週日曜 9:00～9:30

小学生(4～6年生)をスタジオに迎え、県の魅力などをクイズ形式で楽しく紹介。
http://www.bbt.co.jp/ 出場者募集中

富山メモリアルナイト | チューリップテレビ
毎週火曜 21:55～21:58

県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

とやま県聞録 | FMとやま
毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」

10月9日、23日の朝刊各紙に掲載予定
子ども富山県広報「きときと キッズ」(秋号)
小学校4～6年生全員に配布(10月中旬)
富山県ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/>

食べてみよう! 情報

エネルギー
1人分
197kcal

さといものベーコン巻き

さといもは縄文時代から栽培され、山で取れる「やまいも」に対し、里で取れることからこのように呼ばれたとされます。カロリーが低く、ぬめりは血圧やコレステロールを下げる働きがあると言われています。

主な産地 上市町、井波町、福野町



材料・分量 4人分
さといも 8個
ベーコン(薄切り) 8枚
だし汁 1カップ
砂糖 小さじ1
塩 小さじ1/2
サラダ油 大さじ1～2

- 1 さといもは皮をむき、乾いたふきんでぬめりを取る。(土を洗い流した後、一旦乾かしてから厚めに皮をむくと痒くならない)
- 2 鍋にだし汁・砂糖・塩を入れ、さといもを軟らかくなるまで煮て、汁気を切って冷ます。
- 3 さといもを1個ずつふきんに包み、軽くつぶして形を整えたら、ベーコンで巻いてようじで止める。
- 4 フライパンでサラダ油を熱し、3を転がしながら丁寧に焼き、ようじを外して器に盛る。

彩りと香り付けにレモンやミントの葉を添えてもよい

協力 富山県栄養士会

開館時間 休館日 利用料、参加料 対象 募集人数 募集締切
 身障者用駐車場有り 出入口口平坦またはスロープ有り 車いす対応エレベーター有り
 車いす用トイレ有り 洋式トイレ有り ベビーシート有り

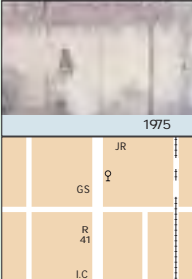
近代美術館

富山市西中野町1-16-11
 ☎076(421)7111

視覚の領界 勝井三雄デザイン展
 【10/3(日)まで】
 料 一般700円 高・大500円 小・中350円

日本画の精華
 箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵名品展
 【10/9(土)~11/28(日)】
 山本丘人、杉山寧、平山郁夫など39名の代表作品66点を紹介します。
 料 一般900円 高・大650円 小・中450円
 いずれも常設展示もご覧になれます。

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(10/11、11/22は開館)
 料 常設展 一般200円 高・大160円 小・中100円



富山駅からバス、笹津方面行、西中野口下車

山本丘人「地上風韻」1975年



富山駅からバス、笹津方面行、西中野口下車


水墨美術館

富山市五福7-7
 ☎076(431)3719

院展を築いた4人の巨匠 - 大観 春草 観山 武山 -
 【9/26(日)まで】
 料 一般1,000円 高・大700円 小・中300円

「高山辰雄 - 墨色の世界」展
 ~ 生きて在ることの哀しみと優しさと ~
 【10/1(金)~11/7(日)】
 「聖家族」シリーズをはじめ、墨色で描かれた高山辰雄の代表作品約40点を紹介します。
 料 一般1,000円 高・大700円 小・中300円
 いずれも常設展示もご覧になれます。

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(10/11、11/22は開館)
 料 常設展 一般200円 高・大160円 小・中100円



富山駅から市内電車、大学前行、新富山下車徒歩10分

高山辰雄「山気みつ」1987年



富山駅から市内電車、大学前行、新富山下車徒歩10分

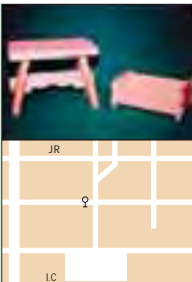
ウッドリウム富山

小杉町黒河新494-0
 ☎076(656)1570

とやまちピッツとんかち大将コンクール
 【10/4(月)まで】
 小学生が夏休み期間中に制作した木工作品を展示しています。
 料 無料

趣味の木工教室 風呂用いす&せっけん箱
 【10/23(土) 13:30~16:30、
 10/24(日) 9:00~12:00】
 数 各日20組(申込順)
 締 開催日の前日
 料 2,500円(材料代)

開 9:00~16:30
 休 火曜、祝日の翌日(11/23は開館)
 料 工作室 一般220円 小・中110円



小杉駅南口からバス、太閤山東口下車

小杉町黒河新494-0



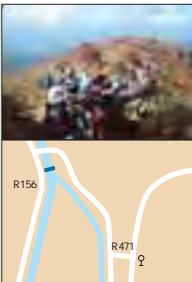
小杉駅南口からバス、太閤山東口下車

利賀少年自然の家

東砺波郡利賀村上百瀬48
 ☎076(668)2026

秋の金剛堂山登山
 【10/23(土)~24(日)】1泊2日
 紅葉の金剛堂山に登り、頂上からの大パノラマを望みます。利賀の味覚やパークューも楽しめます。
 対 小学生以上
 数 50名(申込順)
 締 10/8(金)
 料 一般3,700円 小・中3,200円
 (宿泊・食事代、保険料)

開 9:00~17:00
 休 月曜、祝日の翌日(10/4は開館、11/9は休館)
 料 日帰り90円
 宿泊 小・中340円 25歳以下670円 26歳以上1,020円



八尾駅から利賀村(上)、上百瀬行、合掌文化村口下車徒歩5分

八尾駅から利賀村(上)、上百瀬行、合掌文化村口下車徒歩5分



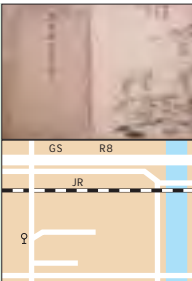
公文書館

富山市茶屋町33-12
 ☎076(434)4050

企画展 幕末の越中 - 激動の時代を生きる -
 【10/1(金)~11/14(日)】
 記録史料をもとに幕末の越中を紹介します。
 10/3(日)、17(日)、24(日)に展示説明会を行います。
 料 無料

企画展記念講演 幕末の風・越中
 【10/17(日) 10:00~12:00】
 講師/米原 寛氏(立山博物館館長)
 数 100名(申込順)
 締 10/15(金)
 料 無料

開 9:00~17:00
 休 土曜、日曜、祝日(会期中は無休) 料 無料



富山駅からバス、布目経由四方・新港東口行、県立図書館前下車

富山駅からバス、布目経由四方・新港東口行、県立図書館前下車




埋蔵文化財センター

富山市茶屋町206-13
 ☎076(434)2814

特別展 材を活かす
 【10/6(水)~11/14(日)】
 石、木、鉄など道具に使われた素材の加工技術やその移り変わりを紹介します。
 料 無料

開 9:00~17:00
 休 金曜
 料 無料



富山駅からバス、布目経由四方・新港東口行、県立図書館前下車

富山駅からバス、布目経由四方・新港東口行、県立図書館前下車



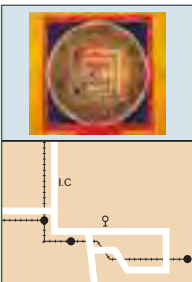
立山博物館

立山町芦峯寺93-1
 ☎076(481)1216

企画展 チベットマンダラ展
 【10/2(土)~11/7(日)】
 当館や花巻市博物館が所蔵するタンカ(軸装仏画)でチベット仏教美術を紹介します。
 料 一般200円 高・大160円 小・中100円

企画展記念講演 チベットのマンダラ美術
 【10/16(土) 14:00~16:00】
 講師/真鍋 俊昭氏(四国大学教授)
 講演会場/県民小劇場オルビス(富山駅前)
 料 無料

開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(10/11は開館)
 料 一般650円 高・大400円 小・中250円
 展示館・展望館・まんだら遊苑の3施設セット券



地鉄千垣駅からバス、雄山神社前下車

地鉄千垣駅からバス、雄山神社前下車




らいちょうパレースキー場

立山町本宮
 ☎076(481)1226


立山山麓やすらぎフェスティバル
 【10/10(日) 9:00~16:00】
 乗馬体験、小動物とのふれあい、イワナのつかみどりなどイベントのほか、バザーコーナー(山麓鍋など)やフリーマーケットも行います。
 当日、ゴンドラリフト利用者に特典有り
 ・リフト料金割引
 ・苗木プレゼント(先着200組)

ゴンドラリフト
 開 8:30~16:30(10/3(日)、9(土)、10(日))
 は7:00から運行)
 料 往復 一般1,100円 小学生以下800円



地鉄立山駅からタクシー10分

地鉄立山駅からタクシー10分



土・日・祝日、教育活動での小・中・高校生の観覧は無料です。
 近代美術館、水墨美術館の前売り券(一般のみ)は、開催の前日まで近代美術館、水墨美術館、県民会館、高岡文化ホール、新川文化ホールで販売しています。

「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は
 〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要)
 県庁広報課あて
 ☎076(444)3134 FAX 076(444)3478
 E-mail koho@pref.toyama.lg.jp
 ホームページ
<http://www.pref.toyama.lg.jp/sections/1101/1101.htm>

編集部から
 「ねいの里」でのジュニアナチュラリスト養成講座に同行しました。皆で山椒の実をかじったのですが、ピリッと辛くて、徐々に舌や唇がしびれてきました。私は小柄なので、「山椒は小粒でもびりりと辛い」と言われるのが理想ですが、本当の山椒があんなに辛いとは思いませんでした。
 県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。